

一人一句

第二五一回 一人一句
九月兼題・鳴く虫一切

足音の去来聞き分け鳴くちちろ
うない髪並ぶ枕辺キリギリス
ひぐらしや後ろ髪引く金色堂
奥山の邯鄲に酔ふ湯浴み後
野外劇場虫のすだきやたけなわに
サツシユ窓開けて虫の音招き入れ
背の子と見上ぐ鈴虫籠に揺れ
電子音美しき虫の音塞ぎけり
鈴虫の何時の間にやら夢の中
鉦たたき懐深く予後の財

武 とよこ
寿 子
訓
恵 子
昭 子
敏 子
里 美
義 明
六 斗

